

様式1 令和7年度使用 中学校教科用図書調査研究報告書

教科用図書 種目(美術)

1. 発行者の略称(出版社名)
9 開隆堂 38 光村 116 日文
2. 調査研究の経過
7月 1日 第1回竹田地区教科用図書選定委員会 7月23日 第2回竹田地区教科用図書選定委員会 月 日
3. 調査研究の観点
<p>【全教科(種目)共通観点】</p> <p>1. 単元・題材の構成及び内容の取扱い</p> <p>(1) 学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>(2) 単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>(3) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>2. 文章表現、資料等</p> <p>(1) 文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>(2) 資料・手引き等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>3. 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>(1) 挿絵・図表・統計等が、どのように示されているか。</p> <p>(2) 紙質・造本については、どのように示されているか。</p> <p>【各教科(種目)独自観点】</p> <p>○学習指導要領に示された目標に基づいた各教科(種目)独自の観点を設定する。 ※各教科(種目)独自観点は、次回選定委員会までに設定し、調査研究報告時に説明する。</p> <p>(1) 表現に関する活動</p> <p>①主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることへの手立てについて、どのように示されているか。</p> <p>②意図に応じて表現方法を工夫して表し、追求し、創造的に表すことについて、どのように示されているか。</p> <p>(2) 鑑賞に関する活動</p> <p>①表現と鑑賞の活動を相互に関連させる活動について、どのように示されているか。</p> <p>②生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実についてどのように示されているか。</p>
4. 選定委員会(専門研究員の調査・研究)についての意見、感想ほか
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末の環境整備に伴い、各社とも2次元コードからつながる技法動画などコンテンツの充実が図られ、生徒の主体的な学びを促している。 ・学習指導要領の育成を目指す3つ資質・能力にそって、単元や題材の配置がなされている。 ・生徒の鑑賞に対する興味・関心を高めるために、発色や紙質の向上など鮮明な印刷の工夫がなされている。 ・図版の大きさやレイアウトなど、生徒の興味を喚起させる工夫がなされているかが議論された。

教科用図書 種目(美術) 教科書会社 No(9)

発行者の番号・略称	番号	9			略称	開隆堂																						
使用学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年																						
教科書番号	702	802																										
項 目	所 見																											
教 科 共 通	1. 単元題材 の選定及び 組織・構成	<p>○表現領域の「絵・彫刻」と「デザイン・工芸」、鑑賞領域の題材数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>絵・彫刻</td> <td>デザイン・工芸</td> <td colspan="4">鑑賞</td> </tr> <tr> <td>美術 1</td> <td>5</td> <td>4</td> <td colspan="4">2</td> </tr> <tr> <td>美術 2・3</td> <td>8</td> <td>7</td> <td colspan="4">7</td> </tr> </table> <p>○活動の見通しを持つための紙面レイアウトの特徴や工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1つの題材を4ページで、大きな図版を使って構成し、導入から振り返りまでの授業展開が示されている。 ・ 発想、構想、表現方法の手がかりが「作者の言葉」として示されている。 ・ 「美術の用語」で学習内容に関する用語を示している。 							絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞				美術 1	5	4	2				美術 2・3	8	7	7			
		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞																								
	美術 1	5	4	2																								
	美術 2・3	8	7	7																								
2. 文章表現、 資料	<p>○2次元コードからつながるコンテンツの種類・数</p> <table border="1"> <tr> <td>種 類</td> <td>作品 360° 鑑賞</td> <td colspan="5">技法動画</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>5</td> <td colspan="5">35</td> </tr> </table> <p>○その他特徴的なコンテンツ（数） 導入動画（33）・ワークシート（85）</p>						種 類	作品 360° 鑑賞	技法動画					数	5	35												
種 類	作品 360° 鑑賞	技法動画																										
数	5	35																										
3. 挿絵・図表	<p>○掲載されている図版の種類・数</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>制作風景</td> <td>技法</td> <td>美術作品</td> <td>生徒作品</td> <td colspan="2">題材資料写真</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>35</td> <td>30</td> <td>213</td> <td>154</td> <td colspan="2">395</td> </tr> </table>						種類	制作風景	技法	美術作品	生徒作品	題材資料写真		数	35	30	213	154	395									
種類	制作風景	技法	美術作品	生徒作品	題材資料写真																							
数	35	30	213	154	395																							
4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞図版や文字が鮮明にみることができ、マットな紙が使われていてインキの反射を抑えつつ発色の鮮やかな用紙が使われている。鑑賞や色相環などの知識を学習するページでは、見開きにするなど工夫されている。 ・ 製本は堅牢で、生徒がページを開きやすいよう綴じ方も工夫されている。 																											
教 科 独 自	5. (1) 表現に 関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発想や構想の際のワークシートを含んだデジタルコンテンツが題材ごとに示されている。 ・ 漫画やアニメと美術を比較したり関連付けたりするなど、身近な生活の中にある美術作品が示されている。 ・ 「鑑賞」の小見出しを付け、すべての表現を主とした題材の中に作家作品等の鑑賞が位置付けられている。 ・ 原寸大や部分を拡大した図版が掲載されている。 <p>○「美術作品」に関する図版の数、「美術の働きや美術文化」に関する図版の数と具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アニメ ・ 仏像 ・ カエルのギロ（楽器）・ トンボの精（宝飾品） 																										
	(2) 鑑賞に関 する活動	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>美術作品</td> <td>美術の働きや美術文化</td> </tr> <tr> <td>美術 1</td> <td>51</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>美術 2・3</td> <td>162</td> <td>152</td> </tr> </table>							美術作品	美術の働きや美術文化	美術 1	51	41	美術 2・3	162	152												
	美術作品	美術の働きや美術文化																										
美術 1	51	41																										
美術 2・3	162	152																										
6. その他 (地域の特殊性について の配慮)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州・沖縄に関連する作品、美術館等は16点掲載されている。 																											
7. まとめ (特色及び総合所見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発想、構想、表現方法の手がかりが「作者の言葉」として示されている。 ・ 1つの題材を4ページで、大きな図版を使って構成し、導入から振り返りまでの授業展開が示されている。 ・ 「鑑賞」の小見出しを付け、すべての表現を主とした題材の中に作家作品等の鑑賞が位置付けられている。 ・ 表紙にエンボス加工、他のページでは、マット紙を使用するなど工夫されている。 																											

教科用図書 種目(美術) 教科書会社 No(38)

発行者の番号・略称	番号	38			略称	光村																						
使用学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年																						
教科書番号	702・703	802																										
項 目	所 見																											
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<p>○表現領域の「絵・彫刻」と「デザイン・工芸」、鑑賞領域の題材数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>絵・彫刻</td> <td>デザイン・工芸</td> <td colspan="4">鑑賞</td> </tr> <tr> <td>美術 1</td> <td>11</td> <td>6</td> <td colspan="4">4</td> </tr> <tr> <td>美術 2・3</td> <td>9</td> <td>6</td> <td colspan="4">10</td> </tr> </table> <p>○活動の見通しを持つための紙面レイアウトの特徴や工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きの鑑賞ページの後に表現の内容が位置付けられている。 ・「みんなの工夫」で複数の生徒が試行錯誤しながら制作していく過程が示され、活動の見通しが示されている。 ・別冊資料へのリンクが示されている。 							絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞				美術 1	11	6	4				美術 2・3	9	6	10			
		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞																								
	美術 1	11	6	4																								
	美術 2・3	9	6	10																								
2. 文章表現、 資料	<p>○2次元コードからつながるコンテンツの種類・数</p> <table border="1"> <tr> <td>種 類</td> <td>作品 360° 鑑賞</td> <td colspan="5">技法動画</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>8</td> <td colspan="5">44</td> </tr> </table> <p>○その他特徴的なコンテンツ(数)書き込みツール&高精細画像(7)・音声ナビ(5)</p>						種 類	作品 360° 鑑賞	技法動画					数	8	44												
種 類	作品 360° 鑑賞	技法動画																										
数	8	44																										
3. 挿絵・図表	<p>○掲載されている図版の種類・数</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>制作風景</td> <td>技法</td> <td>美術作品</td> <td>生徒作品</td> <td colspan="2">題材資料写真</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>27</td> <td>54</td> <td>159</td> <td>107</td> <td colspan="2">453</td> </tr> </table>						種類	制作風景	技法	美術作品	生徒作品	題材資料写真		数	27	54	159	107	453									
種類	制作風景	技法	美術作品	生徒作品	題材資料写真																							
数	27	54	159	107	453																							
4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞図版や文字が鮮明に印刷できる、発色の良いコート紙が使用されている。日本の絵画のページでは、和紙のような風合いのある用紙を使用している。 ・製本は堅牢で、生徒がページを開きやすいよう綴じ方も工夫されている。 																											
教 科 独 自	5. (1) 表現に 関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に応じて資料の提示方法に変化があり、吹き出し、ズーム、焦点化、矢印などで示されている。 ・発想の初期段階の生徒の発想の例と、制作過程の順序が示されている。 ・巻末資料等で様々な種類の表現技法が示されている。(技法動画) 																										
	(2) 鑑賞に関 する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・題材のはじめに鑑賞の問いかけを示し、「POINT」で鑑賞するときに着目すべきポイントが示されている。 ・1つの題材に対し複数の図版が掲載されている。 <p>○「美術作品」に関する図版の数、「美術の働きや美術文化」に関する図版の数と具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の仮面・防災のデザイン・モバイル・海外の生徒作品 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>美術作品</td> <td>美術の働きや美術文化</td> </tr> <tr> <td>美術 1</td> <td>29</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>美術 2・3</td> <td>95</td> <td>141</td> </tr> </table>							美術作品	美術の働きや美術文化	美術 1	29	113	美術 2・3	95	141												
	美術作品	美術の働きや美術文化																										
美術 1	29	113																										
美術 2・3	95	141																										
6. その他 (地域の特殊性につい ての配慮)	<ul style="list-style-type: none"> ・九州・沖縄に関連のある作品、美術館等は 22 点掲載されている。 																											
7. まとめ (特色及び総合所 見)	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの工夫」で、生徒が試行錯誤しながら制作に取り組む過程が示され、活動の見通しを持つことができるよう工夫されている。 ・1年別冊資料には、3年間通して使う材料や用具、資料などがまとめられている。 ・2次元コードからつながるコンテンツでは、技法動画が数多く示されている。 ・鑑賞の題材のはじめに、問いかけを示し、「POINT」で着目すべきポイントが示されており、鑑賞を深める手立てが工夫されている。 																											

教科用図書 種目(美術) 教科書会社 No(116)

発行者の番号・略称	番号	116			略称	日文												
使用学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年												
教科書番号	702	803	804															
項 目	所 見																	
教 科 共 通	1. 単元題材の選定及び組織・構成	<p>○表現領域の「絵・彫刻」と「デザイン・工芸」、鑑賞領域の題材数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>絵・彫刻</td> <td>デザイン・工芸</td> <td>鑑賞</td> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>9</td> </tr> </table> <p>○活動の見通しを持つための紙面レイアウトの特徴や工夫。 ・「鑑賞の入り口」「造形的な視点」「表現のヒント」などが示され、画面構成が見やすい。 ・全題材の主文と合わせた題材導入動画がある。 ・表裏表紙にわたって、学年に応じた美術と日常の結びつきについての作品が大きく掲載されており、その内容に沿ったコメントや鑑賞資料が示されている。</p>						絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞	美術1	7	6	5	美術2・3	11	12	9
		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞														
	美術1	7	6	5														
	美術2・3	11	12	9														
2. 文章表現、資料	<p>○2次元コードからつながるコンテンツの種類・数</p> <table border="1"> <tr> <td>種 類</td> <td>作品 360° 鑑賞</td> <td>技法動画</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>5</td> <td>35</td> </tr> </table> <p>○その他特徴的なコンテンツ（数） 導入動画（50）・著名人や作家のインタビュー（4）</p>					種 類	作品 360° 鑑賞	技法動画	数	5	35							
種 類	作品 360° 鑑賞	技法動画																
数	5	35																
3. 挿絵・図表	<p>○掲載されている図版の種類・数</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>制作風景</td> <td>技法</td> <td>美術作品</td> <td>生徒作品</td> <td>題材資料写真</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>83</td> <td>65</td> <td>286</td> <td>174</td> <td>334</td> </tr> </table>					種類	制作風景	技法	美術作品	生徒作品	題材資料写真	数	83	65	286	174	334	
種類	制作風景	技法	美術作品	生徒作品	題材資料写真													
数	83	65	286	174	334													
4. 紙質・造本	<p>・掲載されている作品を生かすために白地を基調として、余計な装飾は極力抑えたデザインにされている。 ・紙質は、適度な光沢な紙を使用し、皺になりにくく破れにくい素材となっている。</p>																	
教 科 独 自	5. (1) 表現に関する活動 (2) 鑑賞に関する活動	<p>・この題材で着目させたい【共通事項】について〈造形的な視点〉として具体的に示されている。 ・短時間で取り組める題材について、作品例が写真で示されている。</p> <p>・「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」を示し、鑑賞→表現→鑑賞の流れで表現と鑑賞が相互に示されている。 ・美術作品、生徒作品が複数掲載されており、制作において、発想や構想のヒントとして活用できる。</p> <p>・世界の仮面・防災のデザイン・モバイル・海外の生徒作品</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>美術作品</td> <td>美術の働きや美術文化</td> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>49</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>247</td> <td>69</td> </tr> </table>						美術作品	美術の働きや美術文化	美術1	49	33	美術2・3	247	69			
	美術作品	美術の働きや美術文化																
美術1	49	33																
美術2・3	247	69																
6. その他 (地域の特殊性についての配慮)	<p>・九州・沖縄に関連のある作品、美術館等は 14 点掲載されている。</p>																	
7. まとめ (特色及び総合所見)	<p>・「学びの目標」に育成すべき資質・能力の3つの柱にもとづいた目標が、生徒にも分かりやすい言葉で設定されており、導入時、学習途中、振り返りにも活用できる。 ・各単元に「作者の言葉」「表現のヒント」「造形的な視点」が吹き出しとして示され、発想、構想のヒントとして活用できる。 ・2次元コード「学びのはじめに」には、各題材で必要な造形的な見方・考え方を示し、授業の導入で使用しやすいように問かけ型の文章でまとめられている。 ・「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」を示し、表現と鑑賞が相互に示されている。</p>																	